

さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭 2014

環境局みどりの推進部みどりの推進課

札幌市では、市民、企業とともに進めるみどり豊かなまちづくりの一環として、昭和42年から公園造成予定地などで市民植樹祭を開催しています。(平成18年からは「さっぽろふるさとの森づくり植樹祭」の名称で開催)

子どもから大人まで多様な世代が参加して森づくりに取り組み、これまでの48年間で延べ20,000人の参加のもと100,000本の樹木を植樹してきました。

平成26年度は、9月24日(水)北区茨戸川緑地で、札幌国際芸術祭2014の特別連携事業としての開催となり、植樹本数も10,000本、参加人数も1,400名の規模で行いました。

北区内からは、拓北・あいの里連合町内会長をはじめ地元の方々や新川保育園、新琴似保育園、あいの里西小学校をはじめ11の小学校が参加しました。式典の中では、子供たちによる植樹へのメッセージの読み上げを行いました。



市長挨拶

また、芸術祭ゲストディレクターである坂本龍一氏のメッセージが坂本氏が代表理事を務める一般社団法人 more treesの水谷氏によって代読されました。

【古来より森を失った文明は、必ず滅んできました。今、世界中から急速に森が失われているのを見て、背筋の凍るような恐ろしさを感じます。たくさんの生命の住処であり、CO₂を吸収し、水を保存し、また人間に大きな恵みをもたらしてくれる森を再生しなければ、私たちの未来はないでしょう。私たちの未来は子供たちの肩にかかっています。札幌の子供たちが豊かに成長できますように、木々が子供たちと一緒に豊かに成長できますように、という願いをこめてこの「植樹祭・育樹祭」を提案しました。子供たちや木々が豊かに成長できないような環境には、真の成長はないからです。「札幌国際芸術祭」の真の目的も、札幌とそこに住む人々が、真に豊かになることだからです。坂本龍一】



メッセージ読み上げの様子

※各小学校2名、各保育園2名が「大きくて丈夫に育ってほしいです。そして将来、札幌に緑で綺麗な森林が増えて欲しいと思います。」などそれぞれのメッセージを読み上げました。



植樹完了
カミネッコン
7個植え

植樹の様子

カミネッコンに入った苗木を植樹

※ カミネッコン：再生ダンボール紙で作成した紙のポット、数年後には土に還る。

※ カミネッコンは子供たちが作成し、メッセージを書いたポストカード（木のポストカード）を添えました。

今回、特別連携事業を契機に初めて育樹祭を同時開催しました。



育樹の様子

※ 混み合った枝や下枝を切って整える。密集して育てない樹木の間引きをする。

※ 初めてのノコギリ、初めての剪定作業です。

育樹祭では、ノコギリを使用して樹木が密集しているところの間引きや下枝を剪定しました。

初めての育樹作業（剪定・間引き）でしたが、子どもたちにとってノコギリを使って木の枝を剪定することは、とても楽しい作業だったようです。じゃんけんで順番を決めて、予想以上にたくさんの木の剪定をしました。

さっぽろふるさとの森づくり植樹祭・育樹祭では、これからも皆さんと協力して、沢山の樹木を植え、育てていきます。

平成27年度も9月に北区茨戸川緑地で開催する予定です。ぜひご参加ください。

○お問い合わせ

環境局みどりの推進部みどりの推進課

TEL.011-211-2522